

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		図書館運営			款	7	項	5	目	1	事業	12	整理番号	544				
担当部課名		中央図書館			係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	527					
上位施策No・施策名		63 図書館サービスの充実			予算事業区分							既定事業						
事業開始		昭和	▼	25	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	5・6・7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
事務事業の概要	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)		根拠法令等		(1) 図書館法 (2) 子どもの読書活動の推進に関する法律								
	事業の目標		(対象をどのような状態にしたいのか)			民との協働の推進、地域の課題解決と区民の自立を支援するサービスの充実、レファレンスサービスの充実と利用促進、情報化の推進、子供読書活動の推進などにより、誰もが本と親しめる環境を整備し、区民の生涯学習と自立を支援する。		活動指標名(式)		(1) 蔵書数 (2) 個人貸出冊数								
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)			○民との協働による図書館運営の推進、効果的な図書館サービスの提供を行う。 ○地域の課題解決と区民の自立を支援するサービスを行う。 ○図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 ○図書資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 ○図書館資料の利用案内、利用相談(レファレンスサービス)を行う。 ○子供や幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		区民1人あたりの蔵書数		算定式・指標の説明等		蔵書数÷杉並区の人口(外国人登録を含む)										
		成果指標名(2)		区民1人あたりの年間貸出冊数		算定式・指標の説明等		個人貸出冊数÷杉並区の人口(外国人登録を含む)										
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%						
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)								
指標	活動指標(1)	①	冊	2,166,751	2,210,000	2,243,359	2,250,000	2,255,450	2,260,000		99.8	100.2						
	活動指標(2)	②	冊	4,389,479	4,240,000	4,620,408	4,620,000	4,887,587	4,380,000		111.6	105.8						
	成果指標(1)	③	冊	4.04	4.12	4.16	4.17	4.18	4.17		100.2	100.2						
	成果指標(2)	④	冊	8.18	7.90	8.56	8.56	9.06	9.50		95.3	105.8						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	704,230	724,829	702,820	764,327	741,082	1,019,716	21年度予算執行率%		97.0						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	3,593	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	381,501	388,498	384,345	445,212	440,093	703,621									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	103.96 35.30	96.00 51.60	100.44 52.90	80.00 61.90	80.72 60.36	57.00 31.81	平成22年度の事業費の増加は、主として平成22年度から新たに地域図書館4館を指定管理者による運営としたことにより、指定管理に要する委託料が増えたことによるものです。								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	950,194	868,800	908,982	710,320	716,713					506,103				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	97,781	144,480	148,120	172,887	168,585					88,845				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,752,205	1,738,109	1,759,922	1,647,534	1,626,380	1,614,664									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	807	786	785	732	721	714									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0				
		都からの補助金等	⑮	千円		0	0	0	0					0				
		その他の補助金等	⑯	千円		0	0	0	0					0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	1,752,205	1,738,109	1,759,922	1,647,534	1,626,380	1,614,664									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 544

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み  ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				管理運営委託(指定管理者)	2
		図書館サービス業務委託	11	館	210,585
		図書館資料購入・装備	13	館	202,899
		図書館システム管理(図書サービスコーナー等含む)	16	施設	151,345
		その他 ( 情報環境の提供、ブックスタート、子供読書活動推進ほか )			65,979
	(2)事業実績	新たに地域図書館1館の業務委託を開始するとともに、地域図書館の指定管理化への取り組みを進めました。また、引続き経営評価・利用者満足度調査を実施し、効率的・効果的な図書館運営と創意工夫による図書館づくりの一層の推進を図りました。さらに、情報化時代に対応した図書館サービスの提供に努めるとともに、課題解決型支援サービス、レファレンスサービスの充実に取り組みました。そのほか、これまでの子供読書活動への取組を検証し、「子供読書活動推進計画」の改定を行いました。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	内 容
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	昭和25年の区立図書館設置から、現在は13館が整備され、他にもサービスコーナーやふれあい図書室など計17施設で図書館サービスを提供しています。また、平成17年度から民との協働を進め、運営方式は直営、委託、指定管理、ボランティアによる運営など様々な方式となっていますが、平成21年度に「地域図書館の運営は、今後、全て指定管理者による運営とする」との方針を定め、取り組みを進めることとしました。サービス面では、平成18年度の新図書館システム稼動、19年度の利用者用インターネットパソコン設置など情報化の推進、地域の課題解決、区民の自立を支援するサービスの提供などを進めました。
	今後の予測	指定管理者による図書館運営、地域の課題解決、区民の自立支援サービス、情報化の進展による新たなサービスへの対応などについて意見が寄せられています。  地域の課題解決や区民の自立支援といった「生涯現役の地域社会を支える図書館」への期待が高まっています。また、利用者のIT機器を使ったサービスの充実に対する要望は、今後ますます増加していくと考えられます。こうした中で、民との協働による魅力あるサービスの展開が重要となっていきます。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	図書館サービスの充実への貢献度は大きく、蔵書の整備や様々なサービスを提供することは、読書活動の推進や地域の課題解決に役立ちます。
(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓)  ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	民との協働により充実した事業を行うことが可能です。また、指定管理者による運営の中でも民間のノウハウを生かした創意工夫によるサービス提供が可能です。
(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	図書館法第17条の規定により、区立図書館利用は無料となっています。ただし、講演・講座など一部事業によっては、実費負担の可能性は検討すべき課題です。
(4)コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化](具体的内容→)	指定管理者制度の活用により、コストの抑制は可能です。

協働等 点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手
	一部実現している	企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	内 容
	図書館基本方針に基づき、地域館への指定管理者の導入などを進めた結果、区立図書館の効率的・効果的な運営、サービスの充実は着実に進んでいます。しかし、その成果を高め、図書館サービスの一層の充実を図るため、魅力ある図書館サービスの展開や、第三者機関による評価・検証を踏まえた、民との協働による図書館運営の推進が必要です。また、地域の課題解決と区民の日常生活上の問題解決支援サービス、子供読書活動のより一層の充実も課題となっています。

改善・ 見直しの 方向 (中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年度からの指定管理者制度の導入のほか、従前から実施している運營業務委託について平成21年度にはさらに拡大したことにより、コストの抑制を図るとともに独自性のある事業の展開を推進しました。また、下欄(2)に掲げる方針を決定しました。このことにより、平成22年度から、指定管理者制度による運営をさらに4館で行うこととしたため、指定管理に係る予算が増加しました。しかし、指定管理となる前の区職員の人件費を総合的に換算すると、指定管理者による運営としたことにより、区全体の経費は減少しています。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	平成21年5月、「地域図書館の運営は、今後、全て指定管理者による運営とする」との方針を決定しました。今後の指定管理者による運営状況等の評価・検証を行い、図書館の基本方針に掲げる、民との協働による個性ある図書館づくりを進めていきます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	指定管理者による地域図書館運営の推進について、区民等から様々な意見がありました。今後、第三者機関による評価を実施するとともに、中央図書館によるサービスの企画・統括・総合調整機能を強化します。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	● 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	地域図書館が指定管理者の運営に移行することにより、指定管理に要する事業費(委託料)は増加します。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		図書館施設維持管理		款	7	項	5	目	2	事業	3	整理番号	547
担当部課名		中央図書館		係名	管理係		連絡先電話番号		4715		昨年度整理番号	534	
上位施策No・施策名		63 図書館サービスの充実		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	27	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)		根拠法令等		(1) 図書館法 (2)					
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○ 図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。		活動指標名(式)		(1) 開館日数(全館累計) (2) 利用者数(全館累計)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○ 施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)		1日あたりの維持管理経費		算定式・指標の説明等		維持管理経費÷開館日数					
		成果指標名(2)		利用者1人あたりの維持管理経費		算定式・指標の説明等		維持管理経費÷利用者数(入館者数)					

  

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	日	4,064	4,295	4,308	4,328	4,331	4,298	100.8	100.1	
	活動指標(2)	②	人	2,576,955	3,006,000	2,821,589	3,017,000	2,938,287	3,027,000	97.1	97.4	
	成果指標(1)	③	円	44,974	51,035	43,657	47,633	43,868	51,000			
	成果指標(2)	④	円	71.8	77.2	66.7	68.3	64.7	70.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	635,980	191,897	188,075	206,154	189,993	143,672	21年度予算執行率% 92.2		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	406,941	0	1,354	0	1,814	0	特記事項 20年度事業費の減は、地域図書館の大規模改修、今川図書館の新設工事が終了したことによるものです。また、22年度事業費の減は、地域図書館4館の指定管理化に伴うものです。		
	(内)委託費	⑦	千円	118,094	111,879	108,331	121,423	116,125	86,277			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	8.02   1.20	4.00   1.20	4.10   0.00	4.00   0.00	3.73   0.50	3.00   1.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	73,303	36,200	37,105	35,516	33,119			26,637
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	3,324	3,360	0	0	1,397			2,793
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	712,607	231,457	225,180	241,670	224,509	173,102			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	75,213	53,890	51,956	55,839	51,419	40,275			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	712,607	231,457	225,180	241,670	224,509	173,102			
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 547

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	(細)設備保守管理委託	11	館	110,681
		(細)光熱水費	11	館	55,774
		(細)施設維持管理費	11	館	22,645
		(細)事務用機器類	11	館	893
		その他 ( )			0
(2)事業実績	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しました。なお、年間維持管理経費の総額で比較するとH20は188,075千円、H21は189,993千円で、1,918千円(1.02%)の増でした。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内に14館の図書館を整備するという図書館整備方針に基づき、事業開始から現在までに13館が建設されました。また、図書館利用者の利便性向上の観点から、平成17年度からは区立図書館の通年開館化を図り、休館日を毎月2日としたため、開館日が増え、当該事業の重要性は増えています。なお、指定管理者による運営に移行した地域図書館の施設維持管理業務は、指定管理者自らが実施します。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の老朽化による施設の使い勝手の悪さに関する要望や、閲覧席・学習室等の設置希望、バリアフリーの観点からの昇降機や段差の解消、空調機やOA機器等の機械設備・建物設備に関する改善要望が出されています。			
	今後の予測	高齢化の進展に伴い今後とも高齢者の利用が増加していくものと想定されます。また、DVDなどの視聴覚資料やインターネットパソコン(データベースを含む)による情報提供、電子書籍への対応なども期待されています。利用者からの要望・苦情なども踏まえ、計画的な改修計画や施設・設備の有効活用策を検討することが必要です。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	施設維持管理を適正に行うことにより、安心・快適な図書館サービスが可能となり、図書館サービスの充実への貢献度は大きいものとなっています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	今後老朽化が進む施設を同等に維持するためには、更なる経費が必要となります。利用者からの要望・苦情や老朽化に伴う計画的な修繕なども含め、施設・設備の改修等による有効活用策を策定していきます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	公共図書館には、図書館法第17条による図書館利用の無料規定があります。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	施設維持管理を一括委託するなどを既にも実施し、経費削減に努めています。しかし、施設が老朽化し、今後修繕費用が必要となることが予想されるため、これ以上のコスト低下は困難です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	図書館経営評価を実施し、施設の維持管理に関して、自己評価4項目、利用者満足度調査2項目の評価を行いました。すべての図書館で、自己評価・利用者満足度調査ともに一定の評価をいただき、適正な施設維持管理を行っていることが確認されました。図書館13館中6館は、築20年以上であり、施設の老朽化が進んでいます。施設の維持管理経費をこれ以上削減することは難しく、今後、基本計画・実施計画に位置づけて、計画的な改修・改築を行っていくことが必要です。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	前年度には、全館で図書館経営評価を実施し、施設の維持管理に関しても、自己評価4項目、利用者満足度調査2項目の評価を行いました。すべての図書館で、自己評価・利用者満足度調査ともに一定の評価をいただき、適正な施設維持管理を行っていることが確認されました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	図書館利用者にとって、快適で安心して利用できる施設とするため、今後も適正な施設維持管理を行っていきます。また、利用者の意見要望を反映するため、利用者満足度調査の自由意見欄なども活用していきます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	13館中6館は、築20年以上であり、施設の老朽化が進んでいます。今後、基本計画・実施計画に位置づけて、計画的な改修・改築を行っていきます。								
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	● 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	地域図書館が指定管理者の運営に移行することから、施設の維持管理経費の予算が別の事業に移行します。なお、現行の施設を安全かつ快適に運営するため、必要な修繕や維持管理を計画的に行っていきます。							